

【書道】

＜学習内容について＞

「漢字の書」と「仮名の書」さらに「漢字仮名交じりの書」の互換性を重視する。日本文化や中国文化の代表的存在であると言われる書道の構築性を通じて、豊かな心情と感性を確立させる。さらに世界の文化と協調できるよう意識の高揚を図る。

＜教材について＞

教科書：『書道 I』教育図書

学習書：使用しません。

＜レポートと実技テストについて＞

レポートの回数は半期で3回、年間で6回です。実技テストの回数は半期で1回、年間で2回です。書道用具は必ず持参してください。

さらに、今年度から教室の関係上、実技テスト以外の授業時にも、硯と墨を設置することができなくなりました。筆と半紙は、指導者が準備しますが、硯と墨は軽くて小さいもので良いですから本校、協力校ともに、各自が持参していただきたいをお願いします。

なお基本的には、ボールペンと鉛筆で授業を実施する予定ですから積極的に参加してください。よろしくお願いします。マチコミでの連絡が徹底できるように努めます。よろしくお願いします。

＜学習の進め方について＞

レポートの作品づくりは、毛筆と硬筆を使用する問題が出題されますから、各自の書道用具を使用して答えてください。家庭での学習と本校、協力校ともに実技テストを受ける場合は、各自の書道用具を使用することを義務付けております。

ただし、スクーリング時は、ボールペンか鉛筆(2B 以上)を使用することを原則としていますので持参のうえ大いに参加してください。

＜スクーリングについて＞

今年度から、前期・後期ともに4時間のスクーリングに出席することが必要になりました。

また、松山東高校から教室が移動したため、「硯・墨」を設置することができなくなりました。そこで、第一回目のスクーリング時には、本校・協力校ともに、「硯・墨」を各自で準備していただきたくをお願いします。その後は、多方面から対処方法を考慮して、「マチコミ」で徹底したいと考えています。よろしくお願いします。

皆さん 楽しく学習するために大いに声掛けしてください。

<評価について>

評価は、試験成績と平常点(レポートの成績、実技成績、学習態度)を以下の観点をもとに総合して 100 点法で行い、30 点以上を合格とする。

[知識・技能]

- ・「書写から書道へ 漢字の書」では、用具・用材の特徴と表現効果が理解できているか。
- ・「漢字の書(楷書)」では、日本及び中国などの文字と書の伝統と文化、漢字の書体の変遷、鑑賞の方法等ができていないか。
- ・「漢字の書(行書)」では、書風と用筆・運筆との関わりについて理解できているか。
- ・「漢字の書(草書・隸書・篆書)」では、書風と用筆・運筆との関わりについて理解できているか。
- ・「仮名の書」では、書風と用筆・運筆との関わりについて理解できているか。
- ・「仮名の書 漢字仮名交じりの書」では、書風と用筆・運筆との関わりについて理解できているか。

[思考・判断・表現]

- ・「書写から書道へ 漢字の書」では、書写で学んだ全体構成や目的に即した表現になっているか。
- ・「漢字の書(楷書)」では、古典の価値と根拠を理解できているか。書体に即した用筆・運筆ができていないか。
- ・「漢字の書(行書)」では、書風に即した用筆・運筆が理解できているか。
- ・「漢字の書(草書・隸書・篆書)」では、各古典の価値と根拠について、書の良さや美しさを味わっているか。
- ・「仮名の書」では、書風と用筆・運筆に工夫がなされているか。日本文化も理解しているか。
- ・「漢字仮名交じりの書」では、創造された作品の価値とその根拠について考え、良さや美しさを味わっているか。

[主体的に学習に取り組む態度]

- ・すべてにおいて意欲的に取り組んでいるか。